

## 銘柄紹介

# PCIホールディングス [3918・100 株]

## 8月4日 東証マザーズ市場上場

2015年7月14日(火)

更新: 11時34分

株式会社フィスコ

### システム開発のマザーズ上場案件

#### 投資スタンスと初値メド

ブックビルディング参加	——
初値投資	——
初値メド	——

市場の注目度	★★★
想定仮条件レンジ	2500円～2600円
予想PER	14.0倍(連)～14.5倍(連)
予想トレーディングレンジ 期間: 上場後1年を想定	2000円～5000円
予想PER	11.2倍(連)～28.0倍(連)

※★印は5段階評価

#### 日程

仮条件提示	7月14日
ブックビルディング期間	7月16日～7月23日
公開価格決定	7月24日
申込期間	7月27日～7月30日
払込日	8月3日
上場日	8月4日

#### 類似会社 3社

平均PER	-1倍	→	-1円
アプリックス<3727>	-1倍(連)	→	-1円
ユビキタス<3858>	-1倍	→	-1円
ACCESS<4813>	-1倍(連)	→	-1円

(PERは7月13日終値の会社側予想ベース)

ソフトウェア開発(組込み系システム・業務系システム)、自社ソリューションの開発・保守及びIT技術者の派遣等の情報サービスを手掛ける。自動車、重機、建機等に必要不可欠な制御ソフトウェアの開発や、金融・製造・流通等の企業向け一般情報系ソフトウェア開発などを幅広く手掛ける。また、こうした開発実績を背景に、IoT/IoEソリューションの開発も推進している。

公開規模はさほど大きくなく、足元のIPO人気の高まりも追い風となる。

公開規模については10億円程度となる見込みで、マザーズ案件としては中程度に位置付けられる。少数株主が多く、ベンチャーキャピタル株主も散見されるが、消化は十分可能だろう。



新規公開株レポート

## 銘柄紹介

PCIホールディングス [3918・100 株]

8月4日 東証マザーズ市場上場



新規公開株レポート

2015年7月14日(火)

更新: 11時34分

株式会社フィスコ

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2011/9	164	—	15	—	▲ 625	—
2012/9	76	-53.4%	▲ 47	—	▲ 48	—
2013/9	273	255.7%	0	—	341	—
2014/9	461	69.0%	154	—	287	-15.8%
2015/9 予	-	—	-	—	-	—

連結業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2013/9	6,782	—	36	—	383	—
2014/9	6,906	1.8%	436	1103.2%	449	17.3%
2015/9 予	7,500	8.6%	500	14.6%	280	-37.7%
2015/3 2Q	3,938	—	321	—	184	—
予想 EPS/配当	単独:-円 連結:178.81円(上場時発行済株式数で試算)/70.00円					

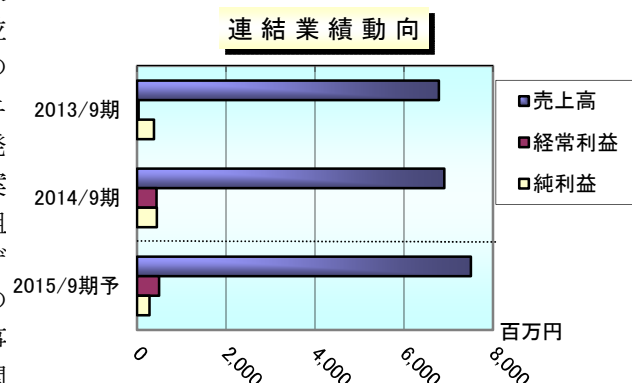
## 業績コメント

2015年9月期の業績は、売上高が前期比8.6%増の75.0億円、経常利益が同14.6%増の5.0億円と増収増益の見通しとなっている。

同社グループが属する情報サービス産業の足元の状況は、企業収益の改善等を背景に、企業がIT投資に対して徐々に積極姿勢に転じつつあり、IT投資需要は総じて堅調に推移した。同社グループは、得意とする組込み系ソフトウェア分野の拡大とビジネスパートナー企業の活用強化、並びにIoT/IoEソリューション分野の進展に向けた事業展開に注力した。テクニカルソリューション事業では、企業の開発投資意欲の向上を反映し、システム開発案件需要は依然として底堅く、得意とする組込み系ソフトウェア開発では、カーナビゲーション関連開発及びチップセット等の車載情報関連開発案件の受注が増加し、事業収益に大きく貢献した。また、金融機関

向け開発案件についても受注が増加し、好調に推移した。加えて、ビジネスパートナー企業の活用増加及び関係強化を図り、事業規模の拡大につながった。

なお、通期計画に対する第2四半期末時点における進捗率は、売上高39.3億円で52.5%、経常利益3.2億円で64.2%となっている。



## 銘柄紹介

# PCIホールディングス [3918・100 株]

## 8月4日 東証マザーズ市場上場

2015年7月14日(火)

更新: 11時34分

株式会社フィスコ



### 新規公開株レポート

基本概要	
所在地	東京都江東区南砂二丁目
代表者名(生年月日)	代表取締役社長 天野豊美(昭和24年2月9日生)
設立	平成17年4月11日
資本金	3億3270万円(平成27年6月30日現在)
従業員数	新規上場会社14人 連結会社863人 (平成27年5月31日現在)
発行済株式数(上場時)	1,565,900株(予定)
公開株式数	公募200,000株 売出160,000株 (オーバーアロットメントによる売出54,000株)
公開規模	10.4億円~10.8億円(OA含む)
事業内容	ソフトウェア開発(組込み系システム・業務系システム)、自社ソリューションの開発・保守及びIT技術者の派遣等の情報サービス

売上高構成比率 (2014/9期実績)		
品目	金額	比率
情報サービス事業	6,906 百万円	100.0 %
合計	6,906 百万円	100.0 %

幹事証券団 (予定)			
	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	みずほ証券(株)	未定	未定
幹事証券	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	未定	未定
幹事証券	野村證券(株)	未定	未定
幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定
幹事証券	SMBC日興証券(株)	未定	未定
幹事証券	岡三証券(株)	未定	未定
幹事証券	東海東京証券(株)	未定	未定
幹事証券	岩井コスモ証券(株)	未定	未定
幹事証券	マネックス証券(株)	未定	未定
幹事証券	むさし証券(株)	未定	未定

## 銘柄紹介

# PCIホールディングス [3918・100 株]

## 8月4日 東証マザーズ市場上場

2015年7月14日(火)

更新: 11時34分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

### 大株主上位 10 位

順位	株主名	保有株数	保有シェア
1	株式会社Y&U	178,600 株	12.13 %
2	PCIホールディングス従業員持株会	110,600 株	7.51 %
3	株式会社日比谷コンピュータシステム	94,600 株	6.42 %
4	関谷 恵美	92,300 株	6.27 %
5	TIS株式会社	92,200 株	6.26 %
6	KSP3号投資事業有限責任組合	62,500 株	4.24 %
7	株式会社三菱総合研究所	60,000 株	4.07 %
7	安田企業投資3号投資事業有限責任組合	60,000 株	4.07 %
9	濱川 洋三	31,700 株	2.15 %
10	株式会社三菱東京UFJ銀行	28,000 株	1.90 %
合計		810,500 株	55.02 %

### その他情報

手取金の使途	(1)連結子会社PCIソリューションズ株式会社に対する融資、及び(2)借入金の返済に充当する予定。(1)については、人的リソース確保に向けた採用活動強化のための融資として、ビジネスパートナー企業との関係強化のための融資として、事業拡張に伴うオフィス増床のための融資として、研究開発のための融資として充当する予定。	
関係会社	PCIソリューションズ株式会社(連結子会社)ソフトウェア企画・開発、情報処理システム設計・開発・運用管理、特定労働者派遣 PCIアイオス株式会社(連結子会社)ソフトウェア開発、パッケージソフトウェア開発及び販売、システム保守・運用サービス、ハードウェア等の販売、労働者派遣 Inspiration株式会社(連結子会社)Webサービスソフトウェア開発、パッケージソフトウェア開発及び販売	
VC売却可能分(推定)	3社 95,000株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	2014年7月1日
	割当先	株式会社Y&U、濱川 洋三、岩橋 正治、ほか 11名(thot株式会社を含む)
	発行価格	599円 ※株式分割を考慮済み



## 銘柄紹介

同社グループは、純粋持株会社である同社並びに完全子会社3社で構成される。ソフトウェア開発、自社ソリューションの開発・保守、IT技術者の派遣等の情報サービス事業を展開する。事業区分は(1)テクニカルソリューション事業、(2)ビジネスソリューション事業、(3)IoT/IoEソリューション事業の3つである。

### (1) テクニカルソリューション事業

顧客企業におけるシステム開発プロジェクトにおいて、同社グループが保有するIT知識・ソフトウェア開発技術・経験・ノウハウ等を活用し、ソフトウェア開発業務を行う。対象とする分野は、(1A)エンベデッドシステム分野と(1B)ビジネスシステム分野とに大別される。

#### (1A) エンベデッドシステム分野

自動車、重機、建機等に必要不可欠な制御ソフトウェアの開発、移動体通信等の通信インフラとなる電気通信分野向け装置の開発及びその他情報家電機器、各種産業機器や半導体製造装置等の制御ソフトウェアの開発を行う。自動車、重機、建機関連では、駆動系・ボディ系等の各種ECU、車載情報端末、CAN通信、衛星通信モジュール制御プロセス等に組み込まれるソフトウェア開発を行う。通信インフラ系システムでは、通信機器・伝送装置開発として、組込OSやネットワーク監視制御ソフトウェア開発等を行うほか、モバイル端末に搭載される各種デバイスを制御するソフトウェア開発、ミドルウェア開発やアプリケーション開発を行う。

#### (1B) ビジネスシステム分野

金融・製造・流通・その他企業向けの一般情報系ソフトウェア開発及び交通・放送等の社会インフラ系ソフトウェア開発を

行う。一般情報系ソフトウェア開発では、銀行・証券・生損保・クレジット・信販会社やその他企業向けに基幹業務系ソフトウェア開発や各種一般業務系ソフトウェア開発、一部システムインフラ系ソフトウェア開発等を行う。

### (2) ビジネスソリューション事業

オープンソースソフトウェアをコアとした顧客の要求に基づくITシステムの構築、同社グループ独自に企画・開発したパッケージソフトウェア製品を活用したソリューションの提供、システムの運用・保守、その他ハードウェアの仕入販売等により顧客企業の事業拡大、業務効率化、生産性向上等の課題解決を行っている。

### (3) IoT/IoEソリューション事業

テクニカルソリューション事業における数多くの開発実績を背景に、IoT/IoE技術のベースとなる通信技術・組込制御技術・アプリケーション技術などの強みを活かし、ソリューションの提案あるいは顧客企業との共同開発を行う。自動車業界向けソリューションとしては、自動車販売店向けに、認定中古車検索サイトと販売店向け在庫情報システムとが連動したシステム、試乗車予約システム、タブレット端末でオリジナル提案資料の作成を可能とするシステムやタッチパネルによる検索システム等を開発する。エネルギー業界向けソリューションとしては、太陽光等の再生可能エネルギー発電施設における発電状況モニタリングのための遠隔監視システムの開発を行う。加えて、付随する再生可能エネルギー発電施設の運用・維持管理支援サービス(O&M: Operation & Maintenance)を提供している。

# PCIホールディングス [3918・100 株]

## 8月4日 東証マザーズ市場上場

2015年7月14日(火)  
更新: 11時34分  
株式会社フィスコ



### 新規公開株レポート

#### 投資のポイント

システム開発企業の IPO における初値が、公開規模と上場時の IPO 人気に左右されやすい傾向にあるなか、同社の公開規模はさほど大きくなく、足元の IPO 人気の高まりも追い風となる。ただ、直近の IPO 案件では市場の想定を上回る初値を付けたのち、反動でいったん株価が急落するケースが目立つ。株式市場の注目テーマとなっている IoT 関連との見方が広がれば人気化する可能性もあるが、IoT/IoE 事業はまだ小規模である。

ベンチャーキャピタル株主も散見される。ただ、公開規模がさほど大きくないことから消化は十分可能だろう。

同社は、ソフトウェア開発、自社ソリューションの開発・保守、IT 技術者の派遣等の情報サービス事業を展開している。中核となる「テクニカルソリューション事業」では、自動車、重機、建機等に必要不可欠な制御ソフトウェアの開発や、金融・製造・流通等の企業向け一般情報系ソフトウェア開発、交通・放送等の社会インフラ系ソフトウェア開発などを手掛けている。また、こうした開発実績を背景に、IoT/IoE ソリューションの開発も推進している。

業績面について、2015年9月期は売上高が前期比 8.6%増の 75.0 億円、経常利益が同 14.6%増の 5.0 億円と増収増益の見通しとなっている。想定仮条件水準の今期予想 PER は 14 倍程度で割高感はない。また、予想配当利回りは 2.7~2.8%と比較的高い。

公開規模については 10 億円程度となる見込みで、マザーズ案件としては中程度に位置付けられる。株主構成上、上位株主の保有占有率が低く、少数株主が多い。また、



## 銘柄紹介

# PCIホールディングス [3918・100 株]

## 8月4日 東証マザーズ市場上場

2015年7月14日(火)

更新: 11時34分

株式会社フィスコ



### 新規公開株レポート

#### 投資スタンスの見方

Aggressive (アグレッシブ)	積極的参加	投資収益率 100%以上が見込まれる案件
Active (アクティブ)	やや積極的参加	投資収益率 50%以上が見込まれる案件
Passive+ (パッシブ・プラス)	やや消極的参加	投資収益率 20~50%未満が見込まれる案件
Passive- (パッシブ・マイナス)	消極的参加	投資収益率 0~20%未満であり、マイナスの可能性のある案件
Negative (ネガティブ)	参加見送り	投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件

#### 《 重要事項(ディスクレマー) 》

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ

### ■ 本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。

本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

### ■ 手数料およびリスク等について

#### 国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

#### 国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

#### 留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、  
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会